



2006年5月17日

各 位

会 社 名 : 大 陽 日 酸 株 式 会 社
代 表 者 名 : 取 締 役 社 長 田 口 博
(コード番号4091東証・大証・名証各一部)

2006～2008年度中期経営計画について

このたび、大陽日酸株式会社（社長：田口 博）は2006年度から2008年度を実行期間とする連結ベースでの「中期経営計画」を策定いたしましたのでお知らせします。

2004年10月に日本酸素(株)と大陽東洋酸素(株)が合併して発足した当社は、合併当初に掲げた「2007年度に連結売上高四千億円、当期純利益140億円」の業績目標を実質2年前倒して達成いたしました。そこで、「事業規模の更なる拡大」と「経営の更なる効率化」を基本方針に掲げ、合併後の長期的な目標である売上高五千億円を確実に達成し、世界的な産業ガスメジャーに伍してグローバルな事業展開を推進するために、「グローバル 5000 第1次中期経営計画 ～アジア発のメジャーを目指して～」をスタートさせることといたしました。

1. 位置付け

海外メジャーに伍してグローバルな事業展開を推進し、長期的な目標である売上高五千億円を達成するための「第1ステップ」とする。

2. 基本方針

- (1) キャッシュフローの有効活用による新たな事業展開
- (2) 効率的な事業経営の追求
をもって、産業ガス関連事業の強化・拡大と収益の向上を図る。

3. 全社事業戦略

- (1) 有効かつ効率的な投資活動による収益を伴った事業の拡大・拡充
- (2) 顧客ニーズを踏まえた独創性のある新規商材の市場投入
- (3) 関係会社を含めた事業運営の見直しによる一層の効率化の推進
- (4) 低採算事業の構造改革による収益性の向上
- (5) ゼロベースからスタートの保安・安全・品質保証の徹底

4. 数値目標

連結業績	05年度実績
売上高(億円)	3,973
営業利益(億円)	268
経常利益(億円)	271
当期純利益(億円)	144
ROE(株主資本利益率)	8.7%
ROCE(使用総資本利益率)*1	9.0%



08年度計画	伸び率
4,500	13.3%
380	41.8%
370	36.5%
200	38.9%
10.0%	—
11.5%	—

*1 営業利益÷(株主資本+有利子負債合計)

5. 配当政策

1株当たり10円以上を目指す。

6. 各事業部門の基本方針

<ガス事業部門>

国内産業ガスのトップメーカーとして、製造から販売・物流に至るメーカー機能を再点検し、ガスビジネスの原点に立ち返ってガス事業の構造改革に着手することによって、磐石の収益・事業基盤を構築いたします。

そのために、国内においては特約店組織の強化や物流体制の見直しを行うとともに、関係会社の機能・役割を再定義し、グループ最適化の観点でガス事業の効率化を推進いたします。

海外においては、積極的なM&Aや需要を先取りした生産設備の増強による事業規模の拡大を進めます。また、成長分野に優先的に営業・技術力を投入すると同時に、新たな需要創出に向けたガス利用技術の開発を推進してまいります。

連結業績	05年度実績		08年度計画	伸び率
売上高(億円)	1,699	⇒	1,960	15.4%

<電子機材事業部門>

エレクトロニクス市場におけるガス・機器関連のトップメーカーとして、商品開発力・技術力を強化するとともに、液晶などのFPD（フラットパネルディスプレイ）や次世代半導体、化合物半導体などの成長分野を中心に顧客ニーズに即したトータルソリューションを提供していきます。また、ユーザーとのパートナーシップの深耕を図ることで事業基盤を一層強固なものにしていきます。更に、海外グループ会社のマチソン・トライガス社（米国）と連携して、米国をはじめアジア地域へのネットワークづくりを強力に推進してまいります。

連結業績	05年度実績		08年度計画	伸び率
売上高(億円)	1,144	⇒	1,260	10.1%

<オンサイト・プラント事業部門>

オンサイト部門では、オンサイトパートナー各社との共存共栄を図ることで安定した事業基盤を構築するとともに、効率的なプラントリプレースや一酸化炭素(CO)などの新規パイピング事業を推進することで事業の拡大を目指します。

プラント部門では、プラント技術開発力の維持・向上・伝承のための資源を継続的に投入していくとともに、ミスロスの削減と生産性の向上に努めてまいります。また、従来より継続して取り組んでおりますトータルコストダウンを徹底的に追求していくことで収益の拡大を目指します。

連結業績	05年度実績		08年度計画	伸び率
売上高(億円)	490	⇒	510	4.1%

<メディカル事業部門>

医療関連ガス・医療機器関連分野における業界地位を確立するために、関連事業のM&Aや国内先進企業との業務提携を積極的に推進するとともに、全国にある強力な特約店組織を持つ当社グループの強みを活かし、営業力強化に向け販売チャネルの拡充を進めてまいります。また、安定同位体事業の更なる拡大を目指して海外市場への進出、新規商材の市場投入を進めてまいります。

連結業績	05年度実績		08年度計画	伸び率
売上高(億円)	117	⇒	200	70.9%

<LPガス事業部門>

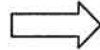
地域密着型の産業であるLPガス事業の特性を活かし、本体のシリンダー営業部門をLPガス販売会社へ移管するとともに、LPガス販売会社の統合・再編を加速することで営業拠点の統廃合による合理化や人材の交流・活用による営業力の強化を推進し顧客サービス体制の充実を図ることで事業基盤を強化してまいります。また、グループ全体のスケールメリットを活かした調達機能を強化することによって、更なる収益の確保を目指します。一方、LNGや水素などのLPガス以外のエネルギー事業については、他社とのアライアンスを推進してまいります。

連結業績	05年度実績		08年度計画	伸び率
売上高(億円)	415	⇒	450	8.4%

7. 所在地別売上高・営業利益

<国内>

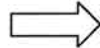
	05年度実績
売上高(億円)	3,294
営業利益(億円)	228



08年度計画	伸び率
3,750	13.8%
310	36.0%

<北米>

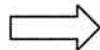
	05年度実績
売上高(億円)	474
営業利益(億円)	51



08年度計画	伸び率
500	5.5%
65	27.5%

<その他の海外>

	05年度実績
売上高(億円)	205
営業利益(億円)	13



08年度計画	伸び率
250	22.0%
25	92.3%

8. 新規投資計画

<国内>

投資(億円)	750
--------	-----

<海外>

投資(億円)	400
--------	-----

3年間計 1,150億円

(内訳)

ガス関連 200億円 電材 220億円
 オサ仆 160億円 マヱィカル 70億円
 L P G 50億円 R & D 40億円

(内訳)

北米 250億円 東南アジア 100億円
 中国・台湾・韓国 50億円

9. キャッシュフロー(3年間計)

営業キャッシュフロー(億円)*1	1,260
設備投資・投融資(億円)	1,150
有利子負債残高(億円)	1,300

*1 内減価償却費 720億円

以 上

本件に関するお問合せ

大陽日酸株式会社
 東京都品川区小山1-3-26 東洋Bldg.
 経営企画・総務本部 広報部 高橋
 TEL: 03-5788-8015